

表 5・1 平成 29 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
<p>第 75 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,400 部(除く第 11 号)、5,800 部(第 11 号)、総頁数 1,322 普通号 10 回；特集号(第 5 号「キラリティー研究の最前－合成、機能と分析－」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 20(2)、総合論文 791(73)、Review de Debut 40(20)、ラウンジ 22(4)、ケミカルズ覚え書き 13(3)、十字路 11(44)、新しい合成 62(248)、会告・協会記事等 289、広告 175 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2017 年度分を掲載。</p>	
単行本の編集・出版	
「企業研究者たちの感動の瞬間」有機合成化学協会・日本プロセス化学会 編 化学同人	
公1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/23, 3/23, 5/26, 7/21, 9/27,11/13)	
公2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
<p>第 111 回有機合成シンポジウム；6/8～6/9 岡山大学創立五十周年記念館・金光ホール；世話人：中国四国支部 依馬正 口頭研究発表 41 件；ポスター発表 65 件 合計 106 件 [優秀ポスター賞] 6 件表彰 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会</p>	283(154)
<p>第 112 回有機合成シンポジウム；12/6～12/7；早稲田大学国際会議場／大隈記念講堂 [受賞講演] 企業冠賞受賞講演 3 件 ☆第一三共・創薬有機化学賞 「高次構造を有するフラボノイド系ポリフェノールの合成研究と機能開拓」(東工大) 大森建 ☆日産化学・有機合成新反応／手法賞 「イミダゾリン、イミダゾリジン、そしてアミノフェノール：不斉触媒の探索と設計」(千葉大院理) 荒井孝義 ☆富士フイルム・機能性材料化学賞 「機械的刺激を感知する分子ドミノ相転移型発光性金錯体」(北大院工) 伊藤肇 口頭・ポスター発表 39 件；ポスター発表 16 件 合計 55 件 [優秀ポスター賞] 4 件表彰 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会 後援：早稲田大学理工学研究所</p>	198(86)
<p>第 50 回酸化反応討論会；11/11～11/12；神奈川大学横浜キャンパス 招待講演 2 件、一般口頭発表 23 件、ポスター発表 38 件 主催：第 50 回酸化反応討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、錯体化学会、触媒学会</p>	134(55)
<p>第 47 回複素環化学討論会；10/26～10/28；高知県立県民文化ホール/三翠園 一般口頭発表 58 件、ポスター発表 125 件 主催：第 47 回複素環化学討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、高知化学会</p>	335(148)
<p>第 50 回有機金属若手の会・夏の学校；8/7～8/9；定山溪万世閣ホテルミリオネ(北海道) 招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 3 件、ポスター発表 119 件 主催：有機金属若手研究者の会 共催：有機合成化学協会、近畿化学協会；協賛：日本化学会</p>	207(188)
シンポジウム【北海道支部】	
<p>第 29 回万有札幌シンポジウム；7/1；北海道大学 招待講演 5 件、ポスター発表 21 件 1. クロスカップリングを利用するフェナセン型分子の合成と電子エネルギーデバイスへの応用 (岡山大基礎研) 西原康師 2. 効率的遺伝子発現制御を目指した核酸をテンプレートにした選択的化学反应の開発 (東北大多元研) 永次史</p>	

表 5・2 平成 29 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 3.タキソールの合成研究 (慶大理工) 千田憲孝 4.有機触媒の複合組織化を利用した新たな立体制御法の開発 (京大院薬) 竹本佳司 5.結合活性化法の創製と新規触媒反応への応用 (阪大院工) 茶谷直人 主催: 万有札幌シンポジウム組織委員会 共催他団体: 北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、日本化学会北海道支部</p>	360(298)
<p>日本化学会北海道支部 2017 年 夏季研究発表会; 7/22; 旭川工業高等専門学校 特別講演 2 件 1.連鎖 DNA の折り畳み その物理化学と生命科学・医学への展開 (旭川医大医学部化学) 秋田谷龍男 2.機能電極を用いた生物電気化学の展開 (日本化学会筆頭副会長・(独)国立高等専門学校機構 理事長) 谷口功 一般口頭発表 90 件 主催: 日本化学会北海道支部 共催他団体: 日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部</p>	170(90)
<p>第 41 回有機電子移動化学討論会; 6/22~23 特別講演 2 件: 1.単一分子メモリユニットとしての動的酸化還元系: 発想とプロトタイプ構築 (北大院理) 鈴木孝紀 2.有機無機ハイブリッド太陽電池の現状と展望—固体における有機電子移動— (静岡大工) 昆野昭則 受賞講演 2 件: 1.光励起電子移動反応の解析と有機電子デバイスのための材料合成への応用 (阪府大院工) 松井康哲 2.有機電解合成を活用する生物活性物質の合成 (慶大・慶應工学会) 西山繁 一般口頭発表 29 件、ポスター発表: 29 件 主催: 電気化学会有機電子移動化学研究会、北海道大学大学院工学研究院応用化学部門反応有機化学研究室、北海道大学触媒科学研究所光触媒科学研究部門 共催他団体: 日本化学会、同北海道支部、電気化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター</p>	96(43)
<p>第 13 回有機電子移動化学若手の会; 6/23~24 招待講演 5 件 1.電解生成活性種の化学と高速触媒反応 (岡山大院自然) 菅誠治 2.レドックス化学の発展に資するバイポーラ電気化学 (東工大理工) 稲木信介 3.らせん伸縮に着目した置換ポリアセチレンの構造解析 (室蘭工大院工) 馬渡康輝 4.有機電子移動化学に関する研究と単純な動機と偶然の重なり (浜松医大) 黒野暢仁 5.金属錯体と光及び電解レドックスシステムを融合化したバイオインスパイアード物質変換(九大院工) 鳥越恒 主催: 電気化学会有機電子移動化学研究会 共催他団体: 日本化学会北海道支部</p>	50(32)
<p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー; 11/28; 北海道大学 1.縮環π拡張反応の開発とナノグラフェン・グラフェンナノリボン合成 (名大教養) 伊藤英人 2.ベルカロールの全合成 (北大院総合化) 土門大祐 3.天然物合成からはじまる創薬/ケミカルバイオロジー研究への展開 (北大院薬) 薬師寺文華 4.アンビデントの反応性コントロール: 触媒的イソシアノ化反応の開発 (北大院工) 百合野大雅 5.配座制御を基盤とした機能性ペプチドの開発 (北大院薬) 渡邊瑞貴 以上の 5 名の演者による招待講演 主催: 有機合成化学協会北海道支部; 共催: 有機合成化学協会</p>	194(166)
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 28 回万有仙台シンポジウム; 6/24; 仙台国際センター 1.中分子環状ペプチドの有機合成から多様な生物活性への展開 (東北大院薬) 土井隆行 2.ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭 3. Process Chemistry of HCV NS5A Inhibitor (Merck & Co., Inc) 伊東哲志 4.反応集積化を利用した糖鎖合成と免疫調節への応用 (阪大院理) 深瀬浩一</p>	345(244)

表 5・3 平成 29 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 5. トポロジカル結合分子を合成する一分子スイッチ, 分子モーター, 生理活性, そして分子トポロジー変換 — (東工大物質理工) 高田十志和</p>	
<p>仙台地区春の講演会; 5/27; 東北大学大学院薬学研究科 1. 「大村天然物の可能性を引き出す有機合成化学の醍醐味」(北里大) 砂塚敏明 2. 「フッ素化学工業原料を用いた含フッ素化合物合成反応」(旭硝子) 森澤義富 3. 「二官能基型パーフルオロアルキル化反応の開発」(理研) 袖岡幹子</p>	144(107)
<p>化学系学協会東北大会; 9/16~9/17; 岩手大学理工学部 【特別講演】 1. 「カーボンナノチューブ研究開発の現状」(名城大院)飯島澄男 2. 「生物電気化学のための機能電極の開発とその応用」(日本化学会, 国立高等専門学校機構)谷口功 3. 「セレンディビティーを知っていますか? ~導電性高分子の発見と開発~」(筑波大名誉)白川英樹 【有機系講演】 有機化学セッション 「Studies on the synthesis and characterization of star-shaped D-π-A molecules with a nitrogen-containing heteroaromatic core」(岩手大理工)村岡宏樹 「Synthesis and application of fluorescent tryptanthrin derivatives」(弘前大院理工)川上淳 「Photochemical synthesis of multi-layered helicenes and the subsequent domino reactions」(山形大理)村瀬隆史 「Pot economy and time economy in the synthesis of biologically active molecules」(東北大院理)林雄二郎 有機化学コロキウム 「パラジウムナノクラスター触媒を用いる方向族ポリケトン耐熱素材の開発」(山形大院有機)前山勝也 「Rational design of reaction condition for the formation of glycosidic linkage catalyzed by glycosyl hydrolase: A case of α-amylase」(日大工)小林厚志 「Synthesis of multicyclic natural product」(横浜薬大薬)庄司満 「Activity directed total synthesis of natural product and their analogues」(東北大院薬)土井隆行 その他講演 43 件、ポスター発表 290 件 共催: 日本化学会, 高分子学会, 日本分析化学会, 化学工学会, 電気化学会, 日本材料学会の各東北支部, 繊維学会東北北海道支部, 無機マテリアル学会北部支部</p>	677(446)
<p>岩手地区講演会; 7/13; 岩手大学理工学部 「分子の形と動きを制御し, 新機能物質を創製する」(東工大)高田十志和 「配位子の電子密度と相互作用を制御し, 高性能触媒を開発する」(岩手大)是永敏伸</p>	61(55)
<p>第 32 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー; 11/25; 東北大学大学院薬学研究科 1. 「分子内にカルボニル基を有する共役エンイン, ジン化合物のアンチ Wacker 型環化反応」(東北大院薬)伊藤和也 2. 「提唱生成経路を模倣した delitschapyrone A の全合成」(東北大院農)倉沢一輝 3. 「キラルプレンステッド酸触媒による第四級不斉中心の構築を指向した分子内 S_N2' 反応の開発と機構研究」(東北大院理)清水雅大 4. 「オキシメチレンヘリセンオリゴマーの合成と擬鏡像異性体混合物による機械的刺激応答自己組織化」(東北大院薬)澤藤司 5. 「Callipeltin Q の全合成」(山形大院理工)東海林由憲 6. 「新規アミン触媒 N,N-ジメチル-1-アミノアダマンタンの発見—触媒的 Kornblum-DeLamare 反応への適用」(東北大院薬)久我哲也 7. 「ゴニオドミン A の全合成研究」(東北大院生命科学)川島悠岐 8. 「ベンゾシクロブテンオキシムスルホナートの環拡大反応を活用したインドールの新規合成法および天然物合成への応用」(東北大院薬)坂田樹里 9. 「銅触媒によるオルト置換 N-アルコキシアニリンのドミノ転位反応」(東北大院理)石田恭裕</p>	153(126)

表 5・4 平成 29 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】	
第 73 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(目白シンポジウム); 5/20 ; 学習院大学目白キャンパス 特別講演 2 件、一般講演 75 件 1.「フッ素置換基の特性を活用する炭素-フッ素結合の活性化」(筑波大数理物質) 市川淳士 2.「生命科学研究に用いるプローブ創製に役立つ有機反応化学」(東医歯大生材研・理研 CLST)細谷孝充 [若手講演賞] 9 件表彰 共催: 日本化学会、日本薬学会	245(155)
第 74 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム); 11/18~11/19 ; 新潟大学五十嵐キャンパス 特別講演 3 件、一般講演 75 件 1.「経口 FXa 阻害剤エドキサパンの創薬研究」(第一三共) 永持雅敏 2.「バリウムの特性を活かした高選択的反応の開発」(千葉大院理) 柳澤章 3.「低酸化数の有機ホウ素化合物が示す特徴的な反応性」(名大院工) 山下誠 [若手講演賞] 8 件表彰 共催: 日本化学会、日本薬学会	197(107)
若手研究者のためのセミナー; 7/8 ; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂 講演 6 件 1.「触媒の特性を活かした化学選択的反応の開発」(東大院薬) 清水洋平 2.「クロロシランの触媒的変換反応による有機ケイ素化合物の合成」(産総研) 別部輝生 3.「アセチレンコバルト錯体を利用した連続環化反応」(工学院大院工) 坂田優希 4.「グアニジン(チオ)ウレア触媒による不斉反応を基盤とした天然物の合成研究」(東農工大院工) 小田木陽 5.「タンパク質チロシン残基の触媒的ラベル化法の開発」(東工大化生研) 佐藤伸一 6.「4 本鎖 DNA と結合する化合物の合成と評価」(千葉大院理) 飯田圭介	119(86)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー; 6/24 ; 岐阜大学 1. 糖鎖の構造多様性に挑む-精密合成が拓く糖鎖の機能研究-(岐阜大研究推進・社会連携機構 生命セ) 安藤弘宗 2. 光・電子機能性分子の物性追求により拓く未来(名大トランスフォーメティブ生命分子研) 山口茂弘 3. 人の未来を変える「ものづくり」の原点は人・アイデア・化学~メディシナルケミストリーによるイノベーションの事例~(大日本住友製薬) 中平博之	61(50)
若手研究者のためのセミナー; 7/21 ; 信州大学理学部 【支部奨励賞受賞講演】 1.可視光を利用する超効率分子変換反応の開発研究(岐阜薬大創薬) 山口英士 2.アズレンを基盤とした共役π電子系化合物の合成(信州大理) 庄子卓 3.ペプチドリード創薬を指向したクロロアルケン型ペプチド結合等価体の創製と応用(静岡大工) 鳴海哲夫 【招待講演】 1.テトラアールホスホウ骨格をベースとした有機分子触媒の開発(信州大工) 戸田泰徳 2.多置換シクロプロパンの不斉合成と不斉伝搬を鍵とする高選択的有機合成(信州大繊維) 西井良典	65(56)
第 48 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会; 11/11~11/12 ; 岐阜大学 【特別討論会】「躍進する有機化学」 <依頼講演> 1. 有機化学と分子生物による細胞能の自在制御を目指して(名工大 FRIMS) 築地真也 2. 安全・簡便有機合成を指向した Pd 触媒反応(静岡県大薬) 眞鍋敬 3. リコポジウムアルカロイドの合成研究(名大院創薬) 横島聡 4. 高周期典型元素を活用した有機化学(名市大院自然) 笹森貴裕 <招待講演> 1. キラルリン酸の開発と新展開(学習院大理) 秋山隆彦	633(67)

表 5・5 平成 29 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 2. 化学と生命科学を革新する有機化学の開拓を目指して：岐阜大学で始めた研究の現状（東医歯大生材研・理研 CLST）細谷孝充 共催：日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学会、日本薬学会など</p>	
<p>総合講演会；12/16；豊橋技術科学大学 1. 企業での有機合成化学の役割（大日本印刷）土屋康典 2. 生物活性天然分子のケミカルバイオロジー（北大院薬・名誉）小林淳一 3. 分子設計・材料設計・プロセス設計のためのデータ駆動型化学～材料設計・プロセス設計・品質管理と制御の連動～（東大院工）船津公人</p>	25(15)
シンポジウム【関西支部】	
<p>有機合成化学北陸セミナー；10/6～10/7；福井県まつや千千 【特別講演 3 件】 1.二重活性化型不斉触媒の創製（阪大産研）笹井宏明 2.電子触媒クロスカップリング反応（関西学大理工）白川英二 3.企業における仕事—参天製薬を例として（参天製薬 [クレール]）山本悟功 【招待講演 1 件】 化学資源を活用する有機合成化学の開拓（京大化研）中村正治 一般研究発表 8 件、ポスター発表 30 件 共催：日本化学会、日本薬学会</p>	138(104)
<p>第 37 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」；8/9；同志社大学室町キャンパス 1.金触媒によるアルカロイド型骨格の構築と全合成研究（京大国際院薬）大野浩章 2.いくつかの変った反応（京府大院生命環境）樺一典 3.有機合成化学を基盤とする海洋天然物のケミカルバイオロジー研究（立命館大薬）古徳直之 4.拡張π電子系の制御合成と熱電変換材料の創出（阪工大工・JST さきがけ）村田理尚 5.ONO-2952（TSPO 拮抗剤）のプロセス開発研究（小野薬品工業）長谷川知之 6.ロジウム触媒を用いた縫合反応によるキノイド型縮環オリゴシロールの合成および物性（阪大院基礎工）新谷亮 ポスター発表 89 件 共催：日本薬学会</p>	206(142)
<p>第 34 回有機合成化学セミナー；9/12～14；金沢市文化ホール／金沢ニューグランドホテル 【招待講演 8 件】 1.可視光(太陽光)で促進されるフォトドックス触媒反応:オレフィンの官能基化を中心に（東工大化学生命研）穂田宗隆 2.タンパク代用物としての短鎖ヘリカルペプチドの創出（富山大院医薬）井上将彦 3.有機 E L 材料の高性能化を実現する有機合成技術（東ソー）松本直樹 4.配位子設計が拓いた新しい有機合成（北大院理）澤村正也 5.1,4-双極性活性種を用いる環化付加反応の開発（金沢大薬）松尾淳一 6.化学的手法による天然毒の生合成研究（東北大院農）山下まり 7.選択的 ROR γ 阻害剤の創製—ドラッグライクネス指標をガイドに用いた合成展開（日本たばこ産業）塩崎真 8.ハイブリッド天然物に学ぶ（東工大理）鈴木啓介 【Lecture Ship 受賞講演 1 件】 1.Recent progress in the synthesis of semiconducting polymers using CH-activation and controlled polymerizations (Univ. of Washington) Christine Luscombe 【Mukaiyama Award 受賞講演 2 件】 1.On Discovery in Catalysis (Univ. Munster) Frank Glorius 2.協働金属触媒による有機合成反応（京大院工）中尾佳亮 【奨励賞受賞講演 5 件】</p>	228(84)

表 5・6 平成 29 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規合成方法論の開発を基盤とする含窒素高次縮環天然物の全合成 (神戸大院工) 岡野健太郎 アミド変換反応の開発と天然物合成への応用 (慶大理工) 佐藤隆章 フタロシアニンを基盤としたπ共役系の構築と機能発現 (九大院工) 清水宗治 糖質の精密合成・機能解析・機能制御分子の創製に関する研究 (慶大理工) 高橋大介 迅速かつ強力なカルボン酸の活性化を基盤とするマイクロフローペプチド合成法の開発 (東工大化学生命研) 布施新一郎 <p>ポスター発表 77 件 共催: 有機合成化学協会本部、日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会、近畿化学協会</p>	
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 33 回若手化学者のための化学道場); 9/1~9/2; レーク大樹; 世話人: 斎本博之 【特別指南講演】 生物活性多環式天然物の不斉全合成 (早大院理工) 中田雅久 【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> カルバゾールを含む新規π共役系化合物の合成~近赤外吸収と固体発光特性~ (岡山大院自然) 前田千尋 フラビン骨格を基盤とする触媒および機能性材料の開発 (島根大院理工) 飯田拓基 リビングラジカル重合を用いた高性能ポリマーの開発と工業化 (大塚化学) 河野和浩 界面で分子の右と左を制御する (物質・材料研究機構) 森泰威 ナノ材料の超分子化学 ~集める・並べる・くっつける~ (広島大院工) 杉川幸太 ペプチド設計に基づく微小管ナノ空間への分子配列 (鳥取大院工) 稲葉央 純粋な有機物で構成された有機超伝導体の開発 (愛媛大院理工) 白旗崇 均一系遷移金属触媒による遷移金属錯体の不斉合成 (徳島大院社会産業理工) 小笠原正道 <p>ポスター発表 37 件</p>	84(64)
<p>2017 年日本化学会中国四国支部大会; 11/11~12; 鳥取産業体育館/鳥取大学; 世話人: 伊藤敏幸 特別講演 (1 件)、会長講演 (1 件)、口頭発表、ポスター発表 共催: 有機合成化学協会中国・四国支部</p>	564 (405)
シンポジウム【九州・山口支部】	
<p>第 29 回若手研究者のためのセミナー; 8/26; 九州大学伊都キャンパス IMI オーデトリウム; 世話人: 清水宗治 (九大院工) 特別講演 1 件; 招待講演 1 件; 受賞講演(ポスター賞); 企業紹介; ポスター発表</p>	114(82)
講習会【本部】	
<p>有機合成化学講習会(前期); 6/14~6/15; 日本薬学会長井記念館長井記念ホール テーマ: 有機合成化学が創出するイノベーション—世の中に貢献する手法とは?—</p> <ol style="list-style-type: none"> 「最近の有機結晶構造解析—粉末結晶解析による医薬品原薬の結晶構造—」(東工大)植草秀裕 「有機合成によるタンパク質、糖タンパク質の機能解析をめざして」(阪大蛋白研) 北條裕信 ※ランチョンセミナー2 社 ◇ロックウッドリチウムジャパン ◇HPC システムズ 「Dual CysLT1/CysLT2 受容体拮抗薬 Gemilucast(ONO-6950)のプロセス開発」 (小野薬品工業) 川中康史 「天然物の骨格多様化合成」(東農工大院工) 大栗博毅 「農薬における探索合成研究」(日本曹達) 柴山耕太郎 「高分子デザインが拓くフォトニクスの世界」(慶大理工) 小池康博 「ペプチドミメティックを基盤とした中分子創薬とケミカルバイオロジー」(東京医歯大生材研) 玉村啓和 「シアノ基の特性を活用した炭素-炭素結合形成法の開発」(北大院理) 谷野圭持 「蛍光ライブイメージングに基づく化学の新たな医療応用」(東大院薬) 浦野泰照 「次世代 HIV-1 インテグラーゼ阻害剤 ドルテグラビルの創薬研究」(塩野義製薬) 川筋孝 「クロスカップリング反応を基軸とした機能性超分子素子の創製」(東大院総合文化) 寺尾潤 	99(1)

表 5・7 平成 29 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>12.「低分子から生体高分子までを標的とした触媒反応開発」(東大院薬) 金井求</p> <p>13.「ヨウ素の特性を活かした酸化反応の開発」(千葉大院理) 東郷秀雄</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	
<p>有機合成化学講習会(後期)；11/15～11/16；日本薬学会長井記念館長井記念ホール</p> <p>テーマ：未来志向型もの創りのアプローチ</p> <p>1.「細胞を操る合成化合物」(京大化研) 上杉志成</p> <p>2.「飽和炭素鎖を官能基化する光反応の開発」(山口大院創成科学) 上條真</p> <p>3.「自然界中に存在する微量香気成分の香料への応用」(長谷川香料) 渡辺広幸</p> <p>4.「リコンビナントペプチド技術の再生医療への活用」(富士フィルム) 前川敏彦</p> <p>5.「チオ尿素型有機分子触媒の化学」(京大院薬) 竹本佳司</p> <p>6.「触媒が拓く分子ナノカーボン科学」(名大トランスフォーメティブ生命研) 伊丹健一郎</p> <p>7.「有機合成反応の系統的な機構解析と経路予測へ向けて：反応経路自動探索プログラム GRRM を用いたアプローチ」(北大院理) 前田理</p> <p>8.「MEK 阻害薬 Trametinib (MEKINIST®) の創薬研究とケミカルバイオロジー」(日本たばこ産業) 阿部博行</p> <p>9.「晶析法によるナノサイズ領域の粒子生成」(早大環境保全センター／理工) 平沢泉</p> <p>10.「ラジカル重合を用いた線状および分岐高分子の制御合成」(京大化研) 山子茂</p> <p>11.「有機合成化学を基盤とした核酸医薬品の高機能化研究」(塩野義製薬) 釘宮啓</p> <p>12.「分子内にリン酸基を有する化合物を医薬品にするために－プロドラッグの概念と有機化学－」(徳島大院医歯薬) 南川典昭</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	104(1)
講習会【関西支部】	
<p>有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2017」；2/1～2/2；大阪科学技術センター</p> <p>1.エネルギーを直接分子に伝達するマイクロ波化学法と、スケールアップの現状(マイクロ波化学) 塚原保徳</p> <p>2.不活性結合の切断を鍵とする分子リバージョン技術(理研) 丹羽節</p> <p>3.デザイン型有機イオン対の触媒化学(名大院工) 浦口大輔</p> <p>4.輸血に代わる薬「ムルプレタ®錠 3mg」の創薬物語(塩野義製薬) 高山正己</p> <p>5.たんぱく質間相互作用を調節する合成中分子を創る(信州大院農) 大神田淳子</p> <p>6.化学遺伝学による創薬標的探索研究(理研) 吉田稔</p> <p>7.触媒を介して官能基を移動させる～移動型カルボニル化反応～(奈良先端大) 森本積</p> <p>8.フロー法によるオンデマンド精密有機合成(東大院理) 小林修</p> <p>9.キラルな二核バナジウム触媒の開発と不斉炭素-炭素結合形成反応への応用(阪大産研) 滝澤忍</p> <p>10.キナーゼ創薬の勘所 構造最適化を進めるうえで注意すべきポイント(カルナバイオサイエンス) 澤匡明</p> <p>11.生物活性天然物の機能解明を志向した実践的合成研究(徳島大薬) 難波康祐</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会</p>	110(38)
懇談会【本部】	
<p>2017 新春特別フォーラム；1/18；化学会館・山の上ホテル(本館)</p> <p>※講演の部「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」</p> <p>1.「グローバル化する製薬産業とイノベーションの創出」(中外製薬) 永山治</p> <p>2.「日本の化学と化学産業 - 生存の条件」(科学技術振興機構研究開発戦略センター) 野依良治</p> <p>3.フルート演奏：(東大総括プロジェクト機構／同大院理) 中村栄一</p> <p>※賀詞交換会「産官学の人的ネットワーク構築をめざして」</p> <p>共催：有機合成化学協会関東支部</p>	147(0)
<p>第 1 回公開講演会「AI と有機合成化学」；7/4；化学会館 7F ホール</p> <p>1.「データ駆動型化学へのパラダイムシフト」(東大院工) 船津公人</p> <p>2.「創薬化学における人工知能の展望」(京大院医) 奥野恭史</p> <p>3.「触媒の発見から産学連携による実用化、キャタリストインフォマティクスへ」(産総研) 佐藤一彦</p> <p>4.「人工知能技術による機能分子・物質設計」(東大院新領域創成科学) 津田宏治</p>	124(0)

表 5・8 平成 29 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 5.「バイオ×デジタルの融合がもたらす、ものづくり産業の革新」(経産省商務情報政策局生物化学産業課) 西村秀隆	
中堅・若手リーダーのための Y U G O K A F e (ユウゴウカフェ) (講演&討論会) —法人企業のリーダークラス、次のリーダーを担う研究職・技術系社員、同年代のアカデミア所属会員のためのフォーラム—; 8/25; 化学会館 7F ホール/5F 大会議室 [第 I 部] 講演 1 件 「創薬を成し遂げるための苦悩と研究者としてなすべきこと」(立命館大/元武田薬品工業) 内川治 [第 II 部] 討論会	60(0)
有機合成化学懇談会; 12/9; 化学会館 5F 大会議室 企業の若手研究者と交流・討論できる、学生のためのセミナー(第 4 弾) (1) パネラー紹介 1.「業務紹介～有機化学から創薬化学へ～」(興和) 荒木崇彰 2.「日々の業務紹介、研究室との違いについて(有機合成から高分子、成形加工技術の分野へ)」(三井化学) 田中真哉 3.「創薬化学研究とは～製薬企業における有機合成化学～」(田辺三菱製薬) 松本幸爾 4.「医薬品開発におけるプロセス研究 —合成化学の限界に挑戦—」(日産化学工業) 吉野円香 5.「農薬の探索合成と有機合成化学」(日本曹達) 柴山耕太郎 6.「自己紹介と花王の業務紹介—香料合成の仕事—」(花王) 三代亜沙美 7.「企業での研究活動について ～学生と社会人の違いとは?～」(カネカ) 安河内宏昭 (2) ブース形式懇談会	47(47)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①; 4/14; 東京理科大学・神楽坂キャンパス 1.「精密有機合成を目指して—私が学んだこと—」(北大名誉) 宮下正昭	206(142)
有機合成化学ミニシンポジウム②: ミニシンポジウム湘南 2017; 6/24; 東海大学湘南キャンパス 1.「ペプチド化学を基盤とした中分子創薬」(東京薬大薬) 林良雄 2.「二酸化炭素を C ₁ ユニットとする複素環合成反応」(慶大理工) 山田徹 3.「有機電子材料を指向した含窒素複素環化合物の合成」(相模中研) 相原秀典	117(99)
有機合成化学ミニシンポジウム③: ミニシンポジウム千葉 2017; 11/27; 千葉大学自然科学系総合研究棟(西千葉キャンパス) 1.「フッ素の特徴を生かした創薬—含フッ素プロスタノイドの合成研究—」(旭硝子) 松村靖 2.「理論計算と合成化学の協奏による分子科学・分子技術・化学系薬学研究」(東大院薬) 内山真伸 3.「光をつかって生体機能を探り操る、そしてがん治療へ!」(東工大化生研) 中村浩之	111(78)
有機合成化学ミニシンポジウム④: ミニシンポジウム多摩 2017; 10/21; 工学院大学八王子キャンパス 3 号館 1.「ベンツリジジン X の全合成」(北海道薬大) 鈴木裕治 2.「常識にとられない糖化学」(理研) 眞鍋史乃 3.「天然芳香族化合物の合成のための新手法」(東京薬大薬) 松本隆司 4.「生物活性天然物の合成研究: キラルプール法によるアプローチ」(慶大理工) 千田憲孝 共催: 工学院大学生体分子システムセンター	129(99)
第 15 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー); 9/22~9/23; 和光純薬工業(株)湯河原研修所 講演 4 件 1.「急進展する有機フッ素化合物の合成」(群馬大院理工) 網井秀樹 2.「酵素触媒機能を活用する物質変換—ダメもと、でもやってみる?」(慶大薬) 須貝威 3.「芳香環、作って壊して天然物合成」(慶大理工) 犀川陽子 4.「精神疾患治療薬の創薬研究—シグマ受容体拮抗薬、CRF 受容体拮抗薬、mGluR2/3 作動薬・拮抗薬のデザインを中心に—」(大正製薬) 中里篤郎 【ショートレクチャー】&【ポスターセッション】6 件	19(7)

表 5・9 平成 29 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>1. 「N-カルバモイルジベンゾアゼピンの立体構造の解明」 (帝京大薬) ○金瀬薫、北田岳史、喜田次郎、田畑英嗣、忍足鉄太、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>2. 「超原子価ヨウ素試薬によるジアリールアミン類の酸化的環化反応を基盤としたヒドロカルバゾール誘導体の合成法の開発」(東農工大院工) ○細谷圭介、小田木陽、長澤和夫</p> <p>3. 「BH₃・THF によるエポキシ不飽和エステルの還元反応」 (工学院大院工) ○小澤暢熙、室川俊介、木村直城、古川晃規、安井英子、南雲紳史</p> <p>4. 「合成カンナビノイド誘導体の合成と GC-MS/MS の異性体識別」(帝京大薬, 名大法医) ○荒木拓嗣、牧野宏章、松本謙吾、財津桂、草野麻衣子、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>5. 「ロジウム触媒を用いたアリルベンゼン誘導体の炭素-炭素結合切断を経る分子変換反応」 (慶大理工) ○小野寺俊亮、河内卓彌、垣内史敏</p> <p>6. 「テロメアグアニン四重鎖のトポロジー選択的な誘起を志向した新規鎖状型ヘキサオキサゾール化合物の合成および物性評価」(東農工大院工) ○佐々木捷悟、馬悦、長澤和夫</p>	
懇談会【東海支部】	
<p>Dr. Nobuyoshi Yasuda, Ph.D. 訪日学者講演会 ; 1/30 ; 静岡県立大学 Practical Examples from Process Research (Senior Principle Scientist, Process Research, Merck Research Laboratories, U.S.A.) Dr. Nobuyoshi Yasuda, Ph.D. 東京大学客員教授</p>	53(44)
<p>Prof. Rajeev Prabhakar 訪日学者講演会 ; 2/21 ; 名古屋大学 Acid-Base Chemistry of Natural Enzymes and their Synthetic Analogues (Department of Chemistry, University of Miami, Florida, U.S.A.) Prof. Rajeev Prabhakar</p>	58(47)
<p>Prof. Mukund P. Sibi 訪日学者講演会 ; 2/27 ; 名古屋大学 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates (Department of Chemistry and Biochemistry, North Dakota State University, North Dakota, U.S.A.) Prof. Mukund P. Sibi</p>	83(75)
<p>Prof. Mukund P. Sibi 訪日学者講演会 ; 3/9 ; 信州大学 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates (Department of Chemistry and Biochemistry, North Dakota State University, North Dakota, USA) Prof. Mukund P. Sibi</p>	35(21)
<p>Prof. Yang Kim 訪日学者講演会 ; 5/26 ; 三重大学 ID, 2D and 3D Polyamines and Their Metal Complexes (Department of Biological Sciences and Chemistry Kosin University, South Korea) Prof. Yang Kim</p>	75(69)
<p>Prof. Jeng-Liang Han 訪日学者講演会 ; 7/21 ; 名古屋大学 Asymmetric Assembly of a Structurally and Stereochemically Complex Spirooxindole δ-Lactones through Organocatalytic Vinylogous Aldol-Cyclization Cascade Reaction (Dept. of Chemistry, Chung Yan Christian Univ., Taiwan, China) Prof. Jeng-Liang Han</p>	67(60)
<p>遠藤篤史博士 訪日学者講演会 ; 7/24 ; 静岡県立大学 Industrialization of Total Synthesis: Crystallization by Design Approach for Structurally Complex Natural Product-Based Pharmaceutical Drug (Principal Scientist, Integrated Chemistry Eisai Andover Innovative Medicines Institute, Eisai Inc. (Andover, MA, U.S.A.)) 遠藤篤史 博士</p>	80(70)
<p>Prof. Boris J. Nichtsheim 訪日学者講演会 ; 9/10 ; 名古屋工業大学 Novel Alkynylation Strategies with Hypervalent Iodine Compounds (University of Bremen, Germany) Prof. Boris J. Nichtsheim</p>	27(23)
<p>Prof. Jean-François Paquin 訪日学者講演会 ; 9/11 ; 名古屋工業大学 Exploration and Some Discoveries in Organofluorine Chemistry (Département de chimie Université Laval, Canada) Prof. Jean-François Paquin</p>	29(25)

表 5・10 平成 29 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
Prof. Shu-Li You 訪日学者講演会 ; 9/19 ; 名古屋大学 Pd and Rh-Catalyzed Asymmetric C-H Bond Functionalization Reactions (Shanghai Institute of Organic Chemistry, Chinese Academy of Sciences, China) Prof. Shu-Li You	83(75)
Prof. Xavier Franck 訪日学者講演会 ; 11/22 ; 静岡県立大学 Synthesis of fluorescent or bioactive azaphilones(Rouen-Normandy University IRCOF Research Director at CNRS UMR-CNRS 6014 COBRA, France) Prof. Xavier Franck	87(75)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会 ; 1/25 ; 大阪科学技術センター 1.安定ラジカルを用いる有機開殻 π 電子系化合物の新展開 (阪市大院理) 岡田恵次 2.特異な π 共役有機分子およびその集合体の創出 (阪大院基礎工) 戸部義人 3.分子デザインと有機合成、そして期待した活性との溝 (京都薬大) 上西潤一 4.フシコッカシテルペノイドの合成・生合成・活性・機能 (阪大産研) 加藤修雄 共催 : 近畿化学協会	101(19)
セミナー“化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」 ; 6/23~6/24 ; SPring-8 / 志んぐ荘 1.見学会 SPring-8 SACL A 研究施設 2.放射光 X 線回折による構造可視化の最前線 (理研) 加藤健一 3.単一分子の観測から広がる化学研究 (阪大産研) 真嶋哲朗 4.放談会「摩訶不思議な電子移動反応とフローマイクロ光化学反応のコラボレーション」(阪府大名誉 / 奈良先端大) 水野一彦 5.分子の積み木細工による 2 次元機能材料の創製 : 液面の特異性を利用して作る多孔性ナノシート (阪府大院工) 牧浦理恵 6.実用化が進むスライドリングマテリアル (アドバンスト・ソフトマテリアルズ) 野田結実樹 7.クロスカップリングの新展開 (阪大院工) 神戸宣明 共催 : 日本化学会、近畿化学協会	35(6)
懇談会【中国・四国支部】	
第 75 回パネル討論会「有機 π 分子の超分子錯体形成による高機能化」(第 1 回幹事会・懇話会合同会議) ; 5/20 ; 広島大学 ; 世話人 : 池田篤志 1. 生体触媒の創製 : 有機合成・錯体化学からのアプローチ (阪大院工) 林高史 2. π 電子系集合体の新展開 : 分子デザインと合成 (立命館大生命) 前田大光	84(51)
第 76 回パネル討論会「芳香環とヘテロ原子が織りなす有機合成化学」 ; 11/16 ; 島根大学 ; 世話人 : 西垣内寛 1. チオフェンの低い芳香族性を生かした分子変換による新奇 π 電子系の創製 (名大院理) 深澤愛子 2. 新形式 Pummerer 反応が拓く有機合成 : 芳香族性の破壊を伴う分子変換 (京大院理) 依光英樹	38(32)
来日学者講演会 ; 2/28 ; 岡山大学 ; 世話人 : 西原康師 Synthesis of Acetylenic Derivatives from Calcium Carbide: a New Sustainable Chemical Feedstock(Chulalongkorn University, Thailand)Sumrit Wacharasindhu	26(19)
来日学者講演会 ; 3/4 ; 岡山大学 ; 世話人 : 坂倉彰 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates(North Dakota State University, USA)Mukund P. Sibi	56(41)
来日学者講演会 ; 11/14 ; 岡山大学 ; 世話人 : 菅誠治 Preventing and Fighting Malaria: Carbohydrate Vaccines and Flow Chemistry (Max-Planck-Institute of Colloids and Interfaces)Peter H. Seeberger	82(64)
来日学者講演会 ; 11/18 ; 岡山大学 ; 世話人 : 菅誠治 Catalytic Transformations of Olefins(Colorado State University)Yian Shi	106(66)
来日学者講演会 ; 12/18 ; 愛媛大学 ; 世話人 : 宇野英満 Optimized Fluorescent Emitters Based on a Hydroxybenzazole or Anil Scaffold (University of Strasbourg)Julien Massue	48(40)

表 5・11 平成 29 年度事業報告 (その 11)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
第 14 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/15～12/16；広島大学 世話人：相田美砂子(ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会) 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分) 講演数 25 件 (登壇者の内訳：一般 (4)、学生 (21)) 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	126(93)
懇談会【九州・山口支部】	
第 54 回化学関連支部合同九州大会；7/1；北九州国際会議場(北九州市) 化学関係九州支部(共催)；担当：電気化学会九州支部 特別講演 1 件、招待講演 8 件、ポスター発表	900(700)
第 1 回有機合成化学講演会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 招待講演 3 件；世話人：伊藤芳雄 (九大院理)	92(48)
外国人特別講演会；6/22；九州大学大学院薬学研究院本館第 4 講堂；担当：大嶋孝志 1.Highly Active and Iso-selective Catalysts For ROP of Cyclic Esters using Group 2 Metal Initiators 2.Homogeneous Catalysis using Abundant Metals in Earth (Department of Chemistry Indian Institute of Technology Hyderabad, India) Tarun Kanti Panda	35(25)
外国人特別講演会；10/14～17；宮崎県シーガイアコンベンションセンター；担当：渡邊源規 トリプチセン類縁体である Pentiptycene を用いた機能性有機分子骨格構築とその物性研究に関する講演 (Department of Chemistry, National Taiwan University) Jye-Shane Yang	30(0)
外国人特別講演会；10/27；佐賀大学理工学部 8 号館 5 階環境科学セミナー室；担当：竹下道範 Diels-Alder 反応などを用いた、刺激応答性ポリマーに関する講演 (フランスリール第一大学 材料変換 研究機構 (UMET)) Jean-Marc Lefebvre 名誉教授	29(21)
見学会【九州・山口支部】	
見学会；11/2；新日鉄住金化学(株)九州製造所；担当：川田敦志 (新日鉄住金化学)	19
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会(3/7,5/17,7/18,9/22,11/29) 平成 29 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会；5/17 平成 30 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会；11/15 第 111 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；3/7 第 112 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；7/18	
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/5；化学会館 ●中西香爾(コロンビア大学名誉教授) 業績：重要な生理活性天然物の発見とスペクトル構造解析法の先駆的開発 表彰式・受賞講演(H30.2/15)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：4 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	
奨励賞書面審査；8 月；郵便	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/4～10/5；化学会館	
有機合成化学協会賞(学術的なもの) ●秋山隆彦(学習院大) 業績：キラルプレンステッド酸触媒の開発と不斉触媒反応への展開 ●寺田眞浩(東北大) 業績：高機能性有機酸ならびに有機塩基触媒の創製 有機合成化学協会賞(技術的なもの) ●杉山幸宏(日本軽金属(株)) 業績：新規酸化剤「次亜塩素酸ナトリウム 5 水和物 (SHC5)」の工業化とその酸化反応への応用	賞選考 委員会

表 5・12 平成 29 年度事業報告 (その 12)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページからの続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安酸達郎(塩野義製薬(株)) 業績：HIV-1 インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの効率的合成法の開発 <p>有機合成化学奨励賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安藤吉勇(東工大) 業績：有機分子の潜在的反応性を活用した高次構造天然物の全合成研究 ●小池隆司(東工大) 業績：可視光フォトレドックス触媒作用を基盤としたラジカル的官能基化法の開発 ●米山公啓(広島大) 業績：ユビキタス金属触媒を利用した化学変換反応の開発 ●田中慎二(名大) 業績：ルテニウム・プロトン酸協働触媒による Tsuji-Trost 反応の新展開 ●西形孝司(山口大) 業績：α-プロモカルボニル化合物を用いる官能性第 4 級炭素の構築法確立表彰式(H30.2/15) <p>受賞講演：協会賞(学術的なもの：H30.2/15 技術的なもの：H30 未定) 奨励賞(H30.9/18~20)</p>	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
<p>Mukaiyama Award 委員会；2018 受賞者選考委員会 9/5</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鷹巣守(大阪大学) The discovery and development of new catalytic reactions that can transform strong chemical bonds, such as carbon-carbon, carbon-oxygen and carbon-heteroatom bonds. ● Prof. Jeffrey W. Bode (Swiss Federal Institute of Technology (ETH)) Enantioselective N-heterocyclic carbene catalysis, KAHA ligation the chemical synthesis of proteins, SnAP and SLAP reagents for the preparation of saturated N-heterocycles, potassium acyltrifluoroboronates (KATs) for amide and amine synthesis. <p>表彰式・受賞講演；H30.9/18~20</p>	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
<ul style="list-style-type: none"> ● Prof. Christine Luscombe (University of Washington, USA) The comcontributions to the synthesis of semiconducting polymers using CH-activation and controlled polymerizations. <p>表彰式・受賞講演；H29.9/12~14</p>	関西支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択)	
<p>シオノギ・低分子創薬化学賞；書面審査(郵便；~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西川俊夫(名大) 業績：生物活性天然物の効率的合成のための新合成方法論の開発 <p>第一三共・創薬有機化学賞；書面審査(郵便；~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大井貴史(名大) 業績：有機イオン対触媒の設計と機能創出 <p>東ソー・環境エネルギー賞；書面審査(郵便；~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●藤田健一(京大) 業績：有機分子の触媒的脱水素化を基軸とする効率的有機合成ならびに水素貯蔵・水素製造 <p>日産化学・有機合成新反応/手法賞；書面審査(郵便；~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●柴田高範(早大) 業績：イリジウムならびにロジウム触媒を駆使した効率的分子変換法の創出 <p>富士フイルム・機能性材料化学賞；書面審査(郵便；~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●磯部寛之(東大) 業績：大環状芳香族分子の薄膜・固体を活用した多能材料開発 	企業冠賞選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会；2017 受賞者選考委員会 8/21</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Prof. David W. MacMillan (Princeton University, USA) Within organocatalysis he invented the area of iminium catalysis and made significant comcontributions to hydrogen-bonding catalysis, including the development of the MacMillan organocatalysts. He has also been a leader in bringing the field of photoredox catalysis to synthetic organic chemistry. <p>表彰式・受賞講演；H30.2/15</p>	野依賞委員会

表 5・13 平成 29 年度事業報告 (その 13)

事業の名称および事業の概要	参加者数 担当機関
支部表彰	
<p>【関西支部】 第 15 回関西支部賞受賞講演会；11/8；大阪科学技術センター 1.カルベンの特異性を活用した革新的分子変換法の開発（金沢大理工）添田貴宏 2.感染病原体を対象とした阻害分子と診断分子の創成（阪大産研）開発邦宏 3.生体分子の自己組織化特性を利用した不斉構造規制場の構築（阪大院工）森内敏之 共催：近畿化学協会</p>	49(2)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/18；岡山大学(第 2 回幹事会・懇話会合同会議)；世話人：依馬正、坂倉彰 【支部奨励賞受賞講演】 イオン液体科学と有機レドックス化学に基づく糖鎖合成ならびにエネルギー貯蔵の新展開（鳥取大院工）野上敏材 【特別招待講演】 有機合成を基盤とした糖鎖の機能解析（阪大院理）深瀬浩一</p>	115(75)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；11/1；九州工業大学百周年中村記念館；担当：岡内辰夫（九工大工）支部賞受賞講演、招待講演</p>	58(21)
<p>第 27 回万有福岡シンポジウム；6/3；九州大学馬出キャンパス百年講堂；支部ポスター賞（2 名）</p>	
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
<p>第 21 回ゆうごう会；5/25；化学会館 講演 1 件：創薬を指向した有機合成（帝京大名誉）池上四郎</p>	24(0)
<p>第 22 回ゆうごう会；5/30；King of Kings（大阪市） 講演 1 件：アセチレン合成触媒の発展を辿る（阪市大名誉） 菌頭健吉</p>	22(0)
<p>第 23 回ゆうごう会；11/6；King of Kings（大阪市） 講演 1 件：大学の現状と課題（京大総合生存学館・同大環境安全保健機構）大島幸一郎</p>	26(0)
<p>第 24 回ゆうごう会；12/4；化学会館 講演 1 件：創薬におけるセレンディピティ（元大正製薬）森本繁夫</p>	21(0)
研究企画賞	
<p>研究企画賞選考委員会；11/9；化学会館；23 件採択</p>	担当機関
<ul style="list-style-type: none"> ● 旭化成ファーマ研究企画賞：嵯峨 裕(東京理科大学) 協奏触媒概念による多彩な不斉有機金属活性種の生成と医薬リードの多様性拡張型不斉合成への展開 ● 味の素研究企画賞：岩田 隆幸(九州大学) ナザロフ反応を用いた分子放出反応の開発とその抗体薬物複合体への応用 ● ADEKA 研究企画賞：田原 淳士(九州大学) n 共役エナミンをドナーに持つ新規ドナー・アクセプター化合物の合成および機能性材料への応用 ● カネカ研究企画賞：増井 悠(横浜薬科大学) 二酸化炭素からアミノ酸を合成するためのモジュラーフロー設計 ● 塩野義製薬研究企画賞：草野 修平(福岡大学) 有機ホウ素触媒ベンゾオキサポロールを基盤としたポリオール類化合物の自在化学変換反応の開発 ● 昭和電工研究企画賞：宮村 浩之(東京大学) 協調触媒機能を有する高分子に担持された不均一系金属ナノ粒子触媒の開発と環境調和型有機合成への応用 ● セントラル硝子研究企画賞：川本 拓治(山口大学) トリフルオロメタンスルホンアミドの新しい利用法 ● 第一三共研究企画賞：倉永 健史(北海道大学) 生物合成系を模倣した効率的ペプチド化学合成法の開発 ● 大正製薬研究企画賞：野中 洋(東京大学) 超高感度化核磁気共鳴技術による生体機能解析へ向けた生体適合性核偏極基盤分子の開発 	研究企画賞 選考委員会

表 5・14 平成 29 年度事業報告 (その 14)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページからの続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ダイセル研究企画賞: 松本 和弘(産業技術総合研究所) シロキサン材料の自在合成を目指した触媒的シロキサン結合形成法の開発 ● 高砂香料工業研究企画賞: 古山 溪行(金沢大学) 近赤外光を駆動力とするフォトレドックス反応の開発 ● 田辺三菱製薬研究企画賞: 安田 茂雄(金沢大学) アルデヒドの C-H アリル化を実現する新触媒システムの創製 ● 中外製薬研究企画賞: 原田 慎吾(千葉大学) 入手容易な芳香族フィードストックと未開拓反応種を利用した特異的反応の開発と合成展開 ● 帝人ファーマ研究企画賞: 藤間 達哉(名古屋大学) テトロドキシソキソ類縁体の合成による高サブタイプ選択的な電位依存性ナトリウムチャンネル阻害剤の開発研究 ● 東ソー研究企画賞: 村田 理尚(大阪工業大学) n共役ジチオラート配位子の自在合成とフレキシブル熱電変換材料の創出 ● 東レ研究企画賞: 鋤野 哲(千葉大学) 多価アルコールの活性化を志向したキラルアリアルポロ酸触媒の創製と応用 ● 日産化学工業研究企画賞: 佐々木 要(東邦大学) 異常配座糖を活用した革新的戦略による糖鎖精密合成法の開発 ● 日本触媒研究企画賞: 大町 遼(名古屋大学) バッテリー応用を指向した硫黄ドーピンググラフェンのテーラーメイド合成 ● 富士フイルム研究企画賞: 伊藤 元気(明治薬科大学) ロジウム触媒を用いる窒素-窒素結合形成を機軸とするポリアミン類の新規合成法の開発 ● 三井化学研究企画賞: 菅 拓也(金沢大学) アルコールからの直接的炭素ラジカル生成を利用した C-OH 結合変換反応の開発 ● 三菱ガス化学研究企画賞: 浜坂 剛(分子科学研究所) 両親媒性遷移金属錯体の固相表面上への固定化に基づく高効率水中触媒反応システムの構築 ● 三菱ケミカル研究企画賞: 澤間 善成(岐阜薬科大学) 脱水素型酸化を基盤とした不均一系触媒的反応の開発と応用 ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞: 吉田 泰志(千葉大学) オキサジリジンの触媒的反応性を駆使した不活性 C(sp³)-H 結合の化学選択的不斉アミノ化反応の開発 	<p>研究企画賞 選考委員会</p>
法人運営関連会議	
本部関連	
第 80 回通常総会(定期社員総会 ; 2/16)	
運営委員会・理事会(1/27, 2/16,4/13, 6/16, 9/11, 12/8)	
財務・予算委員会(12/1, 1/18) ; 第一分科会(新事業企画)・第二分科会(HP 見直し) (4/13, 6/16, 6/23, 8/9, 9/11, 10/21, 1/26)	
平成 29 年度役員候補者選出委員会(10/20)	
支部関連 【北海道支部】	
<p>支部幹事会 ; 7/1 ; 北海道大学</p> <p>1. 役員の紹介 ; 2. 2016 年度有機合成化学協会北海道支部・収支決算報告 ; 3. 2017 年度有機合成化学協会北海道支部・事業計画紹介 ; 4. 北海道支部内規 (案) の作成に関して ; 5. 若手研究者のための有機化学札幌セミナーに関して ; 6. 有機合成化学協会賞、および奨励賞の推薦に関して ; 7. 今後の懇談会の開催方法について</p>	
<p>支部幹事会 ; 11/28 ; 北海道大学</p> <p>1. 2018 年度有機合成化学協会北海道支部・事業計画、および予算案に関して ; 2. 役員 (会長候補者、副会長候補者) の選出に関して ; 3. 共催金、講演会謝金の支出に関して ; 4. 第 113 回有機合成シンポジウム (名古屋) の開催に関して ; 5. 今後の支部幹事会の開催時期について</p>	
支部関連 【関東支部】	
常任幹事会(4/14,7/11,10/13,12/19)	
支部幹事会(4/14,10/13)	
談話会(湯河原セミナー)企画委員会 ; 3/22 ; 化学会館	
協会賞等支部推薦委員会 ; 7/11 ; 化学会館	

表 5・15 平成 29 年度事業報告 (その 15)

事業の名称および事業の概要	担当機関
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議；11/18；新潟大学	
支部関連【九州・山口支部】	
事務引継会；2/9；九州大学馬出キャンパス(参加者：H28/29 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
支部各賞選考委員会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるヒアリング；支部各賞選考委員(7名)	
第 1 回幹事会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 議題：平成 28 年度事業・決算報告；平成 29 年度事業計画・予算案他	
第 2 回幹事会；11/1；九州工業大学鳳龍会館会議室 議題：平成 29 年度中間事業・会計報告；平成 30 年度事業計画・予算案他	

事業報告附属明細書

平成 29 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。